マザーカップ 2019　大会ルール

2018 年 2 月改訂

【全クラス共通】

1. 当ルールは全ての参加者ができるだけ公平に競技を楽しめるよう定めるものである。
2. 競技者を妨害する行為は失格となる場合がある。
3. 待機中は愛犬の安全のためにも犬はケージ等に入れておく事が望ましいが、止むを得ず係留等で待機させる場合には、競技犬の視界に入ったり、競技犬に吠えかかるなどして競技の妨げにならない様にタープの奥の方に係留するなど十分配慮すること。
4. 競技中、出場犬以外の犬が侵入した場合、選手の申し出やジャッジの判断で競技をやり直す事ができる。
5. 出場選手は一般ギャラリーに競技を見せる事に協力する。
6. 愛犬、他人の犬を問わず虐待があった場合、その競技を終了または失格とする。
7. 予防注射を済ませていない犬は出場できない。
8. 犬の脱走により競技が進行できない場合（ジャッジの判断で２０秒経過）はその競技は終了とする。それまで獲得した得点は有効となる。
9. その他、本書の規定にないルールについてはジャッジの判断に委ね、出場選手はこれを受け入れる。

【大会マナー】

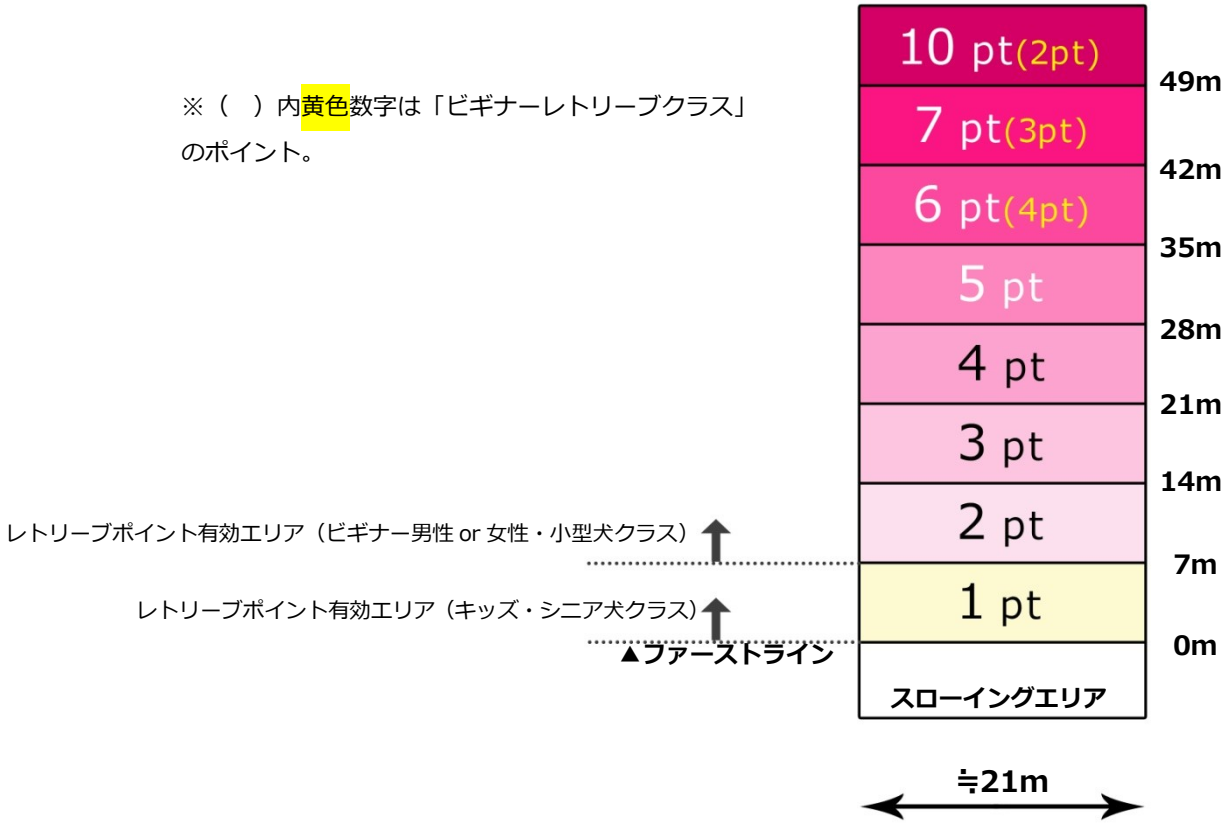
1. 競技中の糞尿行為の扱いについては後述の規定通りだが、それ以外でもフェンスやパイロン等の大会運営備品や会場の設備に愛犬がマーキングしないように注意するのは犬の飼い主としての最低限のマナーである。競技中以外でもフェンス等へのマーキング行為があった場合にはジャッジの判断で失格となる場合もある。愛犬の排泄のコントロールを心がけること。
2. 愛犬の飲み水は各自で用意すること。
3. ゴミやフンは必ず持ち帰ること。
4. 競技中以外の時間は、必ず犬をリードにつなぐこと。
5. 会場内や牧場のお客様に迷惑を掛けないよう心がけること。
6. 競技中のおやつ等の使用に関しては後述の規定通りだが、おやつは出来るだけ使用しない事が望ましい。やむを得ず使用する場合には、おやつを落とすなどして他のペアの競技に迷惑がかからない様、十分気をつけること。万が一落としてしまった場合は選手が責任を持って全て拾って持ち帰ること。また競技後、スローイングエリア付近で愛犬におやつ等を与える事は禁止とする。主催者およびジャッジが競技の進行の妨げになると判断した場合、失格となる事もある。
7. その他運営スタッフの指示に従わない場合には、大会の出場や会場への入場を認めないことがある。

【競技コート図】

ディスタンス競技（オープン・レディース・ミドル・小型犬・ビギナー男性・ビギナー女性・シニア犬・キッズ・レトリーブ・ビギナーレトリーブ各クラス）は制限時間内に出場犬がディスクを何回どの場所でキャッチできるかを競う。一投ごとに得点制で採点し、合計得点の多いペアが上位となる。競技者がディスクを投げた地点と、出場犬がキャッチした地点との距離が長いほうが高い得点になる（ビギナーレトリーブクラスはこの限りではない）。

ロングディスタンスは犬がディスクをキャッチした地点の距離を計測し、制限時間内にキャッチできたもののうち（スローは 3 回まで）最長のものを記録とし競うものである。ロングディスタンスではディスクが選手の手から離れる前に犬がファーストラインを越えるとドッグファールとなる（小型犬を除く）。

フリースタイルは制限時間内で音楽に合わせて様々な技を行い、その内容を競うものである。通常フリースタイルもディスタンス競技のコートを使用して行う。



【各クラスのルール】

*の付いた項目は表下欄に補足説明があるので必ず確認のこと

<table>
<tr><th></th><th></th><th>オープン</th><th>レディース</th><th>ミドル</th><th>小型犬</th><th colspan="2">ビギナー</th><th>シニア犬</th><th>キッズ</th><th>レトリーブ</th><th>ビギナー
レトリーブ</th><th>フリー
スタイル</th><th>ロング
ディスタンス</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>男性</th><th>女性</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>1</td><td>参加費</td><td>¥5,000</td><td>¥5,000</td><td>¥4,500</td><td>¥4,500</td><td colspan="2">¥4,000</td><td>¥4,000</td><td>¥3,000</td><td>¥4,000</td><td>¥4,000</td><td>¥4,000</td><td>¥4,000</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2*</td><td rowspan="2">使用可能
ディスク等</td><td colspan="13">配布ディスク もしくは マザーカップのロゴがプリントされた HERO 製ディスク(SDX･HDX･ドッヂビーを含む)</td></tr>
<tr><td colspan="8"></td><td colspan="2">ボール･ぬいぐるみ等
上記以外のディスク
(事前に使用可能かジャッジに
確認を要する)</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>3*</td><td>競技時間</td><td colspan="2">予選 1 分×2 ラウンド(R)
決勝 1 分×1 ラウンド(R)</td><td colspan="9">1 分×2R</td><td>2 分×1R</td><td>1 分 30 秒×
1R
3 スロー迄</td></tr>
<tr><td>4</td><td>出場犬の
年齢制限</td><td colspan="8">生後 10 ヶ月以上</td><td>9 才以上</td><td colspan="2">生後 10 ヶ月以上</td><td>なし</td><td colspan="2">生後 10 ヶ月以上</td></tr>
<tr><td>5</td><td>出場犬種の
制限</td><td colspan="3">なし</td><td>小型犬
のみ</td><td colspan="9">なし</td></tr>
<tr><td>6</td><td>出場選手の
性別･年齢
の制限</td><td>なし</td><td>女性のみ</td><td colspan="2">なし</td><td>男性
のみ</td><td>女性
のみ</td><td>なし</td><td>小学生
以下</td><td colspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>7</td><td>過去の
入賞経験に
よる参加制
限</td><td colspan="3">なし</td><td>マザーカップ･
DDJOpen のオ
ープン、レディ
ース、ミドルお
よび他団体の同
等のクラスにお
いて優勝経験が
無いペア</td><td>なし</td><td>マザーカップ･
DDJOpen のオ
ープン、レディ
ース、ミドル、
ビギナー、他団
体のディスク
のディスタン
ス競技において
優勝経験が
無いペア</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>8</td><td>1 投毎に犬
をスローイ
ングエリア
へ戻す</td><td colspan="8">1 スロー毎に犬の四肢がスローイングエリア内に戻らないと
その直後のスローは無効となる</td><td>1スロー毎に犬
の四肢がスロ
ーイングエリ
ア内に戻らな
いと、その前後
のスローが無
効となる</td><td>1 スロー毎に犬
の一肢がスロー
イングエリア内
に戻らないと、
その前後のスロ
ーが無効となる</td><td></td><td>オープンに
同じ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th></th><th>オープン</th><th>レディース</th><th>ミドル</th><th>小型犬</th><th colspan="2">ビギナー</th><th>シニア犬</th><th>キッズ</th><th>レトリーブ</th><th>ビギナー
レトリーブ</th><th>フリー
スタイル</th><th>ロング
ディスタンス</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>男性</th><th>女性</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>9*</td><td>レトリーブ
ポイント</td><td colspan="3">なし</td><td colspan="2">7m以上の有効スローに
適用</td><td colspan="2">全ての有効スローに
適用</td><td></td><td></td><td></td><td>なし</td></tr>
<tr><td>10*</td><td>ハンデ</td><td>小型犬・
女性・子供
は 1 キャ
ッチ毎に
0.5P 加算</td><td colspan="6">なし</td><td>小型犬・
女性・子供は
得点毎に
0.5P 加算</td><td colspan="2">なし</td><td>女性・子供は
14mプラス。
小型犬は
14mまで
先行して OK</td></tr>
<tr><td>11</td><td>ロングリードの
使用</td><td colspan="4">×</td><td colspan="4">OK</td><td>×</td><td>OK</td><td colspan="2">×</td></tr>
<tr><td>12</td><td>おやつの
使用</td><td colspan="4">×</td><td colspan="4">OK</td><td>×</td><td>OK</td><td colspan="2">×</td></tr>
<tr><td>13</td><td>補助人の
同時入場</td><td colspan="4">×</td><td colspan="2">OK
補助人が犬やディスクに触れるのは NG</td><td>OK
補助人が犬やディスクに触れても OK。投げるのは
選手のみ</td><td>OK
補助人が犬やディスクに触れても OK。投げるのは
選手のみ</td><td>×</td><td>OK
補助人が犬やボール等に触れても OK。
投げるのは
選手のみ</td><td>×</td><td>原則は×</td></tr>
<tr><td>14*</td><td>ポイントが
発生する
タイミング</td><td colspan="4">ディスクをキャッチした時</td><td colspan="4">ディスクをキャッチした時
（レトリーブポイントは
犬の四肢とディスクが
スローイングエリアに戻った時）</td><td>犬がボール等を持ち帰り、犬の四肢全てとボール等がスローイングエリアに戻った時</td><td>犬または人がボール等を持ち帰り、犬と人とボール等がスローイングエリアに戻った時（犬は一肢が戻れば OK）</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">ディスクを
キャッチ
した時</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td colspan="4"></td><td colspan="2">ディスクを使用した場合
空中でディスクをキャッチすると無得点</td></tr>
<tr><td>15</td><td>ポイントの
基準</td><td colspan="8">犬がディスクをキャッチした(ボール等を咥えた)時に地面に着いている犬の脚のうち、
スローイングエリアに一番近い地点。
ジャンプキャッチの場合は、キャッチ後に最初に地面に着いた脚の位置。</td><td>ボール等を
犬が咥えた or
人が拾った地点</td><td></td><td>オープンに
同じ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">オープン</th><th rowspan="2">レディース</th><th rowspan="2">ミドル</th><th rowspan="2">小型犬</th><th colspan="2">ビギナー</th><th rowspan="2">シニア犬</th><th rowspan="2">キッズ</th><th rowspan="2">レトリーブ</th><th rowspan="2">ビギナー
レトリーブ</th><th rowspan="2">フリー
スタイル</th><th rowspan="2">ロング
ディスタンス</th></tr>
<tr><th>男性</th><th>女性</th></tr>
<tr><td>16</td><td>スローイングエリア以外で人が犬やディスク等に触れる</td><td colspan="3">ポイント発生後（キャッチ後）は
得点に影響しない</td><td colspan="4">キャッチ後は得点に影響しない。
キャッチできなかった場合は、
レトリーブポイントは無効</td><td>ポイント失効
（犬が人の脚に触れるのは OK。手は不可）</td><td>得点に影響しない。
ボール等を持って来るのは犬･人どちらでも OK。
人が犬を抱えても OK</td><td></td><td>オープンに同じ</td></tr>
<tr><td>17</td><td>競技中に犬が場外へ出た場合</td><td colspan="10">ポイントが発生する前に犬が場外へ出た場合、そのスローは無効
場外に出てから 20 秒以内に犬がコート内に戻らなかった場合はその時点でそのラウンドは終了
（それまでに獲得したポイントは有効）</td><td>場外へ出てから 20 秒以内にコート内に戻ればそのスローは有効。ボール等の保持後に場外へ出た場合、そのスローは無効。</td><td>場外に出てから 20 秒以内に犬がコート内に戻らなかった場合はその時点で終了
(それまでの演技内容で採点)</td><td>オープンに同じ</td></tr>
<tr><td>18</td><td>犬がディスクをキャッチ(ボール等を保持)する前に、犬が人や物に接触した場合</td><td colspan="10">コート内であれば犬が人・物に接触してもポイントに影響しない。
フェンスへの接触と場外の判定についてはジャッジに委ねる。
（この判定に対する抗議等は受け付けないものとする）</td><td>犬が人・物・フェンス等に接触してもポイントに影響しない。</td><td></td><td>オープンに同じ</td></tr>
<tr><td>19</td><td>犬がディスクをキャッチ(ボール等を保持)する前に、ディスク(ボール等)が人や物に接触した場合</td><td colspan="10">犬がディスクをキャッチ(ボール等を保持)する前に、
ディスク(ボール等)がコート内外問わず人・物・フェンス等に接触した場合はそのスローは無効となる。
ディスク(ボール等)が空中で場外に出て、人や物への接触無く地面に落ちずに
コート内に戻ってきたスローは有効。</td><td>犬や人がボール等を保持する前に、ボール等がコート内の人・物・フェンス等に接触してもそのスローは有効。
(コート外で人・物に接触したスローは無効)</td><td></td><td>オープンに同じ</td></tr>
<tr><td>20</td><td>終了合図後のキャッチ以外のポイント</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">終了合図の後にレトリーブポイントが有効となるのは、終了合図後ディスクが地面に落ちてから概ね 20 秒以内</td><td colspan="4">終了合図の後にポイントが有効となるのは終了合図後ボール等が地面に落ちて止まってから概ね 20 秒以内</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>21</td><td>競技中の
犬の排泄行為</td><td colspan="13">排泄行為をした時点でそのラウンドの競技は終了。排泄物は選手各自が速やかに処理する事。
（それまでに獲得したポイントは原則として有効）</td></tr>
<tr><td>22</td><td>同点の場合</td><td colspan="12">1 位が同点となった場合は同点決勝戦を行う。同点決勝戦を行った後も同点の場合は申込日時の早い方を上位とする。
2 位以下の同点は申込日時の早い方を上位とする。</td><td>下記【フリースタイル】項を参照</td><td>オープンに同じ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>オープン</td><td>レディース</td><td>ミドル</td><td>小型犬</td><td colspan="2">ビギナー</td><td>シニア犬</td><td>キッズ</td><td>レトリーブ</td><td>ビギナー
レトリーブ</td><td>フリー
スタイル</td><td>ロング
ディスタンス</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>男性</td><td>女性</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">23</td><td rowspan="2">上位入賞ペアの
次回
参加クラス</td><td colspan="2"></td><td>優勝ペアは
オープン・
レディース
クラスへ</td><td></td><td colspan="2">それぞれ
優勝ペアは
ミドル以上へ</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="12">選手の年齢が満 70 才以上の場合、上位入賞による参加クラスの制限は適用しない</td></tr>
<tr><td>24*</td><td>グラチャンの
権利獲得</td><td>1～3 位</td><td colspan="11"></td></tr>
</table>

※各項目の補足説明

2：使用可能なマザーカップのロゴプリントについては右記画像を参照のこと。
規定以外のディスクを使用した事が判明した場合には失格となり、表彰後であっても順位は取り消しとなる。また重いディスク（SDX・HDX 等）に関しては、愛犬への負担を十分考慮し各自の責任にて使用すること。万が一愛犬に不慮の事故などが生じても当方は一切の責任を負わないものとする。レトリーブおよびビギナーレトリーブクラスで使用するボール等は人や犬に危険が及ぶものでなければ制限は無いが、1R の中で使用できるのは 1 つのみとし途中で変える事は不可とする。

3：決勝ラウンドの進出ペア数は当該クラスの参加組数により下記の通りとする。
参加数 2～5 組の場合：2 ペア、　参加数 6～9 組の場合：3 ペア、　参加数 10～14 組の場合：4 ペア、　参加数 15 組以上の場合：5 ペア
各年度最終大会に行われるグランドチャンピオンクラスの決勝ラウンド進出ペア数は、参加組数に応じて別途決定する。

9：有効スローに対し、犬がディスクをキャッチできなくても犬がディスクを咥えて持ち帰り、スローイングエリア内に犬の四肢が入れば 1 ポイントが加算されるのがレトリーブポイント。犬がスローイングエリアに戻る前にディスクを離し、転がる等でディスク単体がスローイングエリアに戻った場合も犬の四肢がスローイングエリアに戻ればレトリーブポイントは発生する。ただし犬とディスクがスローイングエリア内に戻る前に選手が犬やディスクに触れてしまうとレトリーブポイントは発生しない。

10：ハンディキャップの条件が重なってもハンデの加算は 0.5 ポイントを上限とする（ロングディスタンスの場合は 14mが上限）。ロングディスタンスは他のディスタンス競技とは違い、選手の手からディスクが離れる前に犬がスローイングエリアから出てしまうとドッグファールとなりそのスローは無効となるが、小型犬に限り 14m 以内であれば犬が先行してもドッグファールとはならない。

14：レトリーブ・ビギナーレトリーブクラスにおいて犬がスローイングエリアに戻る前にボール等を離し、転がる等でボール単体がスローイングエリアに戻った場合も犬の四肢（ビギナーレトリーブクラスでは犬の一肢と人）がスローイングエリアに戻ればポイントは発生する。

24：オープンクラスで 1～3 位に入賞したペア、および前年度マザーカップグランドチャンピオンクラス優勝ペア（但し今年度の予選大会に 1 度以上の参加が必要。どのクラスへの参加でも良い）は、今年度の最終大会（11 月予定）に行われるグランドチャンピオンクラスへの出場権利を獲得できる。なお最終大会で開催される

オープンクラス上位入賞ペアはグランドチャンピオンクラスには出場できない。有資格ペアに重複が出た場合は、該当ペアのその年度における入賞が 2 回目以降になる大会において次点のペアが繰り上がって出場権利を得る。グランドチャンピオンクラスへのノミネートおよびエントリー等の連絡は 11 月上旬（予定）ごろ有資格者宛てに行い、グランドチャンピオンクラスに限り参加費は事前支払とし、参加費の支払いとエントリーの両方の完了をもってエントリー確定とする。

【その他ディタンス競技共通】

1. 競技中のディスク交換は可能とするが、交換用ディスクはあらかじめジャッジに渡しておくこと。この場合直前に投げたディスクと交換を行う事を条件とする。
2. スタート合図の前に投げられたディスクは無効とする。
3. スタート合図と同時に投げられたスローは有効とする。
4. 終了合図と同時に投げられたスローは無効とする。
5. スタート合図の前に犬がスローイングエリアを出た場合のスローは無効となる（ドッグファール）。犬をスローイングエリアに戻してから得点が発生する。この場合時間は止まらない。
6. ファーストラインを踏んでのスローイングは無効とする（フットフォールト）。ファーストラインに少しでも足が触れればフットフォールトとなる。
7. 各ポイントは上記コート表に明記してある通りとする。1 回のスローでの最高得点は１０点となる。(ただしビギナーレトリーブクラスでは5点が最高得点となる。)
8. コート外キャッチ（犬の四肢がフィールド外に出ている状態）は全て無効とする。コート外周にフェンスが設置されていて、フェンス際でジャンプキャッチした後フェンス外（コート外）に着地した場合も無効となる。
9. コート外でボール等を犬が咥えたり選手が拾ったりした場合、得点は 0(ゼロ)となる。
10. コート外周にフェンスが設置されていて、選手が投げたディスクが犬がキャッチする前にフェンスに直接当たった場合は無効とする。フェンスに当たった後、ディスクが地面に落ちる前に犬がキャッチしても無効となる。またそのディスクを持ち帰ってもレトリーブポイントは発生しない。
11. コート外周にフェンスが設置されていて、犬がディスクを口で弾いて（ファンブル）フェンスに直接当たった場合についても、ディスクがフィールド外に出たのと同等とみなす。（フェンスに当たった後、ディスクが地面に落ちる前に犬がキャッチしても無効。またそのディスクを持ち帰ってもレトリーブポイントは発生しない。）
12. ディスクが地面に着地した後に犬がキャッチした場合は 0 点となる。
13. ジャンプキャッチ、フィールドキャッチともに同一得点とする。

【フリースタイル競技】

1. 競技時間は２分以内で１ラウンド制とする。
2. 使用できるディスク枚数は最大７枚とする。
3. 選手は開会式時に使用する音楽のメディア（CD・MD など）を大会本部に提出すること。
4. 犬種及び出場選手の年齢性別は問わない。
5. 定員を大きく超えた場合には、同一選手が違う犬でフリースタイル競技に複数エントリーすることを制限する場合がある。
6. 採点基準と注意点は下記の通り。
   - マザーカップのフリースタイルとはショーとして観客を楽しませることを前提とし、犬の素晴らしさ、可能性を伝えることを重視する。従って前述を重視した採点となる。またそれぞれの個性と犬と飼い主のコンビネーションの良さも採点に含まれる。技術的に上手なペアが必ずしも上位になるとは限らない事を予め了承の上エントリーすること。
   - ディスクを「とにかくたくさん投げ」ても点数には直結しない（ある程度投げないと点も上がらないが、投数による得点のアップはなし）。投げない時間をどのように見せるか…などの工夫も評価する。
   - 使用できるディスクは７枚までとするが「７枚使わなければいけない」わけではない。また競技時間は２分としているが、例えば１分 40 秒で演技を終了しても構いわない。むしろ愛犬が疲れきるまで演技したり、エスケープするまで行うのはマイナスになる。ただし２分を超えた部分（タイマーの終了合図以降）の演技は採点対象とはならない。終了合図以降にドッグキャッチなどの締めの演技をしても、審査対象の演技とはならず流れ終了とみなす。
   - 演技は始まりや終わりがはっきり分かるように。特に締めくくりはわかりやすくし、観客が拍手をするタイミングを作る事が望ましい。
   - 採点基準をよく理解した上でエントリーすること。また始めたばかりや不得意であっても数回エントリーするうちに上達が認められる場合には、それに応じて採点する。
   - タイマーは音楽の始まりよりも若干遅めにカウントをスタートするが、音楽の開始と同時に演技を始めても構わない。（タイマーの終了合図いっぱいまで演技した場合、実質の演技時間は２分強となる）
   - 採点はマザーカップスタッフがジャッジが行う。誤記・計算ミス以外の採点内容についての異議は一切受けないものとする。
7. 採点方法は下記の７項目で計 40 点満点とする。

   Ｒ(5 点満点)　演技・技の組み立てや順番を評価。俗に言う起承転結。
   Ｍ(5 点満点)　フィールドをどのように使っているか。音楽の選択なども含めマネージメントを評価。
   Ｐ(5 点満点)　完成度として技、人の動き、犬の動きを評価。
   Ｏ(5 点満点)　このペアのオリジナル度、技のオリジナル度を採点。
   Ｄ(5 点満点)　難易度。
   Ｃ(5 点満点)　挑戦ポイントとしてうまくいけばそれなりに、うまくいかなくてもポイントがつくこともある。
   Ｓ(10 点満点)　ショーマンシップ。一番ここを重点的に見ます。ショーとしての採点。
8. １位が同点となった場合はショーマンシップ(S)の点数が高い方を上位とする。ショーマンシップの点数が同じ場合は同点決勝戦を行う。同点決勝戦を行った後も同点の場合は申込日時の早い方を上位とする。２位以下の同点は申込日時の早い方を上位とする。